

## 新旧対照表

【輸出通関事務処理体制について（平成 12 年 3 月 31 日蔵関第 241 号）】

（注）傍線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>輸出通関事務の基本的な処理体制を下記のとおり定め、平成 12 年 4 月 1 日から実施することとしたので了知されたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>第 1 基本的な審査方法等 及び （省略） 審査事務</p> <p>1 審査方法</p> <p>(1) （省略）</p> <p>(2) 輸出貿易管理令（昭和 24 年政令第 378 号。以下「輸出令」という。）別表第 1 及び別表第 2 の該非判定が困難なものについては、統括官等を通じて特別審査官に該非の判定を依頼することとし、特別審査官においても該非の判定が困難なものについては、原則として、特別審査官が経済産業省に該非の判定を照会する。</p> <p>(3) 統括官等が各種情報等を総合的に勘案し抽出した申告及び輸出令別表第 1 又は別表第 2 の該非に疑義がある貨物に係る申告は重点審査とし、前記(1)及び(2)に準じて審査を行うほか、必要に応じ通関情報総合判定システム、各種資料・情報を活用し深度ある審査を行うものとする。</p> <p>2 （省略）</p>	<p>輸出通関事務の基本的な処理体制を下記のとおり定め、平成 12 年 4 月 1 日から実施することとしたので了知されたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>第 1 基本的な審査方法等 及び （同左） 審査事務</p> <p>1 審査方法</p> <p>(1) （同左）</p> <p>(2) 輸出令別表第 1 及び別表第 2 の該非判定が困難なものについては、統括官等を通じて特別審査官に該非の判定を依頼することとし、特別審査官においても該非の判定が困難なものについては、原則として、特別審査官が経済産業省に該非の判定を照会する。</p> <p>(3) 統括官等が各種情報等を総合的に勘案し抽出した申告及び輸出貿易管理令（昭和 24 年政令第 378 号。以下「輸出令」という。）別表第 1 又は別表第 2 の該非に疑義がある貨物に係る申告は重点審査とし、前記(1)及び(2)に準じて審査を行うほか、必要に応じ通関情報総合判定システム、各種資料・情報を活用し深度ある審査を行うものとする。</p> <p>2 （同左）</p>